

# セデッテかしまにおける東日本大震災記録 パネル展示 (2018.12. 27~2019. 1.3)

常磐自動車道南相馬市サービスエリア利活用拠点施設

南相馬市鹿島区浮田字椴木沢 212-1

「セデッテ」とは福島弁で、「連れて行って」の意味です。年末から年始の常磐高速 SA での展示の訪問者層は帰省客や観光客などで、まさに全国区、思いがけない出会いがたくさんありました。



セデッテかしま正面



帰省客に甘酒をふるまう



コミュニティ広場 パネル展示実施



★ パネル展案内看板の位置



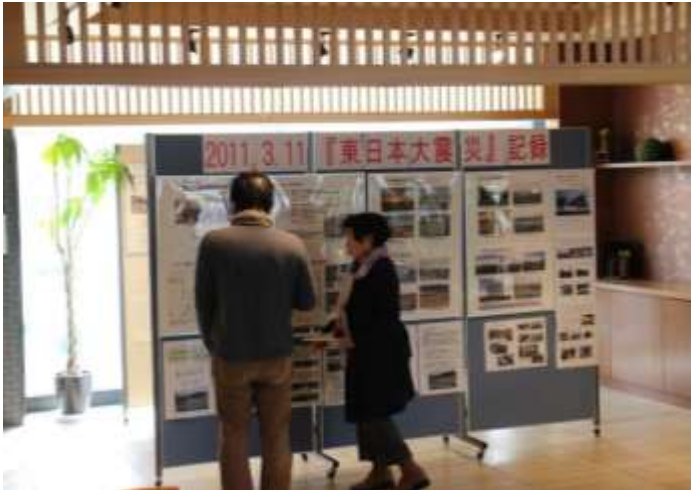
親子で交わした会話は？ 30~40才代の関心が高かった



来場者と記念写真



千葉からの報告



パネルの説明



千葉パネルの前で



小高区に戻ったご夫婦



ご来場ありがとうございます



↑パネル展示会場での交流     ↓夜の広場も歓迎モード



### 《忘れないで ふくしま》

セデッテかしまさんと私たちは「震災から8年、震災が忘れられていく現実」を日頃痛感していました。

帰省ラッシュ時の12月27日から新年1月3日の8日間、コミュニティ広場の『2011.3.11 東日本大震災』記録展企画は、共有する思いの表象として千葉の仲間の参加も得て実現しました。

展示会場には、東北各県はじめ、北海道から沖縄まで多くの来場者が訪れ、パネルを通して、一期一会の交流ができました。来場の皆様から、思いにあふれた心のプレゼントを沢山頂きました。

セデッテかしまさんの御配慮に感謝いたします。ありがとうございました。

環境省環境カウンセラー 長澤利枝